

Title	天文語「一行」辭典
Author(s)	
Citation	天界 = The heavens (1932), 12(131): 108-109
Issue Date	1932-02-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/161884">http://hdl.handle.net/2433/161884</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

# 天文語一行辭典

- 有田邦雄 長崎報時觀測所長。(1870- )
- アルバート Albert 第719番の小遊星。離心率0.54, 近日距離1.18 1911年發見
- アルバニ天文臺 Albany 米國 N. Y. 州。カネギ財團經營。子午線天文學を研究す。
- アルファ Alpha ギリシャ文字の第一號。星座中の明るい星の符號。又、赤經の符號
- アルフェラト Alpherat アンドロメダ座ア星。之はアラビヤ語
- アルフォンゾ第十世 Alfonso(在位1252-82)スペイン國カステラの明君。遊星表を作らしむ。
- アルフォンゾ表 Alfonsine Table アルフォンゾ第十世の命にて作られた遊星表
- アルブレヒト Th. Albrecht 獨國天文家。緯度變化の研究をした(1843-1915)
- アルプス Alps 月面イムブロス海西岸の大山脈、中に大溪谷あり。
- アルブレクト S. Albrecht 米國アルバニ天文臺員、恒星運動の研究家。(1876- )
- アルプス谷 Alps Valley 月面のアルプス山脈中にあり。
- アルベイド Albedo 物體の表面が光をはね返す能力、反射能力。
- アルマゲスト Almagest 第二世紀にトレミッが著した天文書。天動説の大權威書。
- アルマナク Almanac 天文曆
- アルマムン Almamun アラビヤの天文家。ダマスコとバグダドで觀測 (814)
- アルミニウム Aluminium 第13番の化學元素、原子量26.97 天體スペクトル中にあり。
- アルレニウス S. Arrhenius 瑞典の物理學者、天文宇宙に關する著書多し。(1859-1927)
- アレキパ天文臺 Arequipa 南米ペルー國に置かれたハレイド天文臺出張所(1926年廢)
- アレガニ天文臺 Allegheny 米國ピッツバーグ大學天文臺。76徑屈折機あり。
- アレックス Ares ギリシャの神、ローマの Mars に相當。火星の擬人化。
- アレキサンドリヤ Alexandria エジプト北岸の學都、西曆紀元前後に盛んであつた。
- アレオグラフィ Areography 火星表面觀察の學。
- 暗黒星霧 發光せず、不透明、寒冷のガス星霧。銀河中に多く發見さる。
- アンテルム Anthelm 佛國宗教師、1870年夏、獵座に新星を發見す。
- アンドソン J. A. Anderson 米國キルソン山天文臺研究室にゐる物理學者(1876-)
- アンドソン T. D. Anderson 英國天文家。1892年と1901年の新星を發見す。
- アンタレス Antares 蠍座の首星。支那名「大火」、M型、117光年。夏日暮南中。
- アンチノウス Antinous 鷲星座の一部。
- アンチモニ Antimony 第51號化學元素。Sb. 原子量121.76 天體スペクトルに無し。
- アントニアデ E. M. Antoniadis 佛國ムドン天文臺員。遊星表面學の大家。(1880- )
- アンドレ André 佛國パリの天文家。
- アンドロメダ Andromeda トレミッ星座の一、秋の夕暮れ天頂に見ゆ。
- アンドロメダ星霧 同星座α星の西北隣に肉眼にも見ゆ、視直径3'', 距離95萬光年。
- アンドロメダ流星群 毎年11月20日頃、同座が星から飛ぶ。ペルセウスの遺物である。
- アンドワイエ M. H. Andoyer 佛國パリの天文家。佛國天體曆を編輯す(1862-1929)
- 案内星 星の日週運動を追跡しつゝ望遠鏡を動かすこと。ガイドすること。
- 案内星 星をガイド(案内)する時に目標とする星。
- 案内望遠鏡 主要望遠鏡を案内するために用ゐる小型の望遠鏡。
- 案内接眼鏡 望遠鏡を案内するためにのみ用ゐる接眼鏡。大型の望遠鏡にのみ用ふ。
- 案内装置 望遠鏡を案内するための装置。案内の望遠鏡や接眼部又はハンドル等。
- アンブラ Umbra 日食や月食の本影。
- アンブラ Umbra 太陽黑點の中央部、最も光暗き部。
- アンブロン L. Ambronn 獨國ゲチンゲン大學教授。(肉眼星目錄を作る)

暗	部	日月食のアンブラに同じ.
アンモニウム		Ammonium 窒素と水素との化合物. 太陽中にあり
イ		ギリシヤ文字 ι (イオタ) の略
イ   ス タ		Easter 基督復活祭日 (春分の後の満月の次ぎの日曜)
イ   ス ト マン		Eastman 米國寫眞器製作會社長, 米國の改曆委員長.
イ   タ		ギリシヤ文字 η (エータ) を見よ.
胃		支那二十八宿の第17宿. 羊座の東部第35, 39, 41星附近.
E 型 星		ハッブル天文臺フレミング夫人が發表せる恒星の分光型今は廢止
亥		支那十二支の最終.
イ	オ	Io 木星の第一衛星. 1610年一月ガリレオ發見. 公轉5.日9,
イ	オ	Tota ギリシヤ文字の第九字 (ι)
イ	オ	Ion 電氣を帶びた微粒子, 物理學や化學上の用語.
イ	オ	イオンとなること.
イ	カル	Icarus ギリシヤ神話で, 父デダルスと共に飛行して海に落つ.
池田政晴		天文同好會名譽會員. 又, 植物學者 (1905—)
十 六 夜		舊曆の毎月第十六夜.
石井重雄		東京麻布天文臺技師 (大14東大卒)
イ	シ	Isis エジプト古代の月の神. 又, 理學雜誌の名.
イ	シ	Istar [アシタロデを見よ]
椅子星座		カシオペア座の別名.
伊勢曆		京都の土御門家の許しを受け伊勢大神宮前で發行した曆.
位	相	遊星表面の日光で照されてゐる部を地球から眺めた形.
イ	ソ	Isotope 各化學元素の變種.
位	置	天體の空間位置又は天球位置などの意.
位置天文學		天體の天球位置のみを研究する天文學.
一	月	一年中の最初の月.
一	行	支那の僧, 天文家. 大衍曆を作る. (683-727)
一	時	Temporary star 新星 [その條を見よ]
一	年	四季交代の週期, 太陽の一週轉, 又は十二ヶ月.
一	日	太陽の日週運動の長さ. 又は地球一自轉の長さ.
一	時	一日の24分の一.
一	度	角度の單位, 直角の九十分の一. 支那古代では圓周の365分の一.
一	分	角度一度の60分の一, 又は一時間の60分の一.
一	秒	一分の60分の一.
一	戸	明治36年東大卒, 天文家理學博士 (1878-1920)
一	番	日没と共に最初に見える星.
一	角	冬の天空に見える星座. 三等星以下.
一角獸座新星		1918年に現はれ, ヲルフ氏發見. 5等級に達す.
一	貫	鐵砲鍛冶國友能當の號. [國友能當を見よ]
一	等	最も明るい恒星. 全天に約20個.
イ	タ	Ytterbium 第70番化學元素. Yb. 原子量 173.5 太陽中にあり.
イ	デ	プラトン哲學で最も理想的な觀念. 天體はイデヤと思はれた.
射	手	夏の夕暮れ南天に見ゆるトレミ1星座. 銀河中心を含む.
射	手	1898年以來既に十數個發見された. 皆微光.